

大川石材ニュース

第1回庵治石グランドコンペティション 2009

(2009年庵治石品評会)

大川石材が最優秀賞を受賞しました。

〒761-0121 香川県高松市牟礼町牟礼2775番地13

電話(087)845-9640 FAX(087)845-7510

E-mail info@ookawasekizai.com

<http://www.ookawasekizai.com>

「あじストーンフェア2009」が6月13日・14日の2日間、香川県高松市のサンメッセ香川大展示会場で開催されました。

その取り組みの中で、「見たい、作りたい、庵治石の最高峰日本一の庵治石品評会」が初の取り組みとして行われました。

「庵治石」の素材の良さから加工技術・寸法精度などと共に、石の表面の物理・光学的評価など、見た目では評価できない部分までを審査対象(表1)として基準を決めて、庵治産地業者約300社のうち10社がエントリーをしました。

挑戦

大川石材は、昭和20年に初代の大川稔が創業して以来、約70年あまり石材加工に取り組んできました。創業者の意思を引き継ぎ、妥協せず良いものを、今までつくり続けてきました。

中でも砥石による磨き加工・細工加工の技術は、大切に受け継がれて石材加工業者のブランド作りを目指して取り組んできましたが

・大川石材は庵治産地石材加工業者の中で、一体どのレベルなのか

・素材のよさから加工技術・寸法などと共に、香川県産業技術センターといった公的機関による石の表面の物理的・光学的な評価を競うハイレベルな競争だけに、社員一同が心がけている「こだわり」や、妥協せず良いものを作るという「職人魂」といった、目には見えないが大切な切精神面も含めての競争になると感じ挑戦しました。

素材の追求

製作にあたっては、志を共にしている庵治石細目最上級材採掘元の(有)太田秀雄石材店の社員皆様からも多大なる支援、また協力をいただきました。そのおかげで通常では考えられない量の原石を供給いただき、次々と切り続けて石の素材の吟味を行ないました。大川石材が良い庵治石の素材を追求出来たのも、原石の仕入先である採掘元が、素材だけでなく、ソフト面も含めて優れているというのも大きな理由の一つだと改めて感じ、感謝した次第です。

庵治石細目最上級材製品は、山で採掘された原石からの製材率はわずか1%程度ですが、今回は品評会規格である8寸角の石塔を8寸用の原石で作るのではなく、もっと大きい尺角や尺二角用サイズの大いなる原石も供給していただきながら、数組の半製品部材を作って、吟味したから0.3%程度の製材率ではないかと思えます。



代表取締役 大川 等



表1 庵治石グランドコンペティション 2009 審査対象基準項目

寸法精度	吸水率	斑
角度精度	表面粗さ	手触り感
電子顕微鏡による研磨面の状態	斑の画像処理による状態	艶
光沢光度	摩擦深度	その他
色彩度	色合	
磨耗減量	目合	

職人魂に火をつけた言葉

半製品段階で素材の吟味が終わると、次はいよいよ手加工の段階に入ります。職人の腕の見せ所です、一番差が生まれるところですので、力が入ります。ところで、今回の製作にあたり工場への石材加工指示書には、「今まで以上に、向上心・努力・こだわりの心をもって最高の技術で、庵治産地一番の加工を目指そう」という言葉を書き加えました。

創業者の意思は、しっかりと受け継がれていました。その言葉に答えるべく、全社員が一塊となって品評会作品の製作に全力であたりました。

引き継がれる磨き加工・細工加工の技術

最終仕上げは細工部分の手磨き工程です。ここで失敗すれば、今までの多くの苦労が水の泡となるので、失敗は許されません。通常方法では、細工部分1カ所につき、丁寧に磨いても4時間で加工できる手磨き加工を、あえて7日もかけてじっくり仕上げました。通常の加工しやすい御影石なら7日もあれば7組分のお墓が出来上がります。たった1部材の細工部分に、そのくらい手間と時間をかけたのです。

「前工程の加工の凄さが、石から伝わってくる。これに携わった職人の今まで以上の向上心・努力・こだわりが、見るだけで伝わってくる。」それに応えるべく、良いものを作るために、現時点で考え付く加工は全て手を尽くしました。また今回の品評会での製作を通じて社員一同のつながりが、より一層強まったように感じます。この企画いただいた庵治石品評会実行委員会メンバーに改めて感謝した次第です。

日本一の庵治石品評会への搬入

長い時間をかけ、ついに製品を仕上げ、慎重に審査会場に搬入しました。その際、他の9作品も見ただけで、いつもとは数段違う、気合いの入った加工作品であることが一目で判りました。

厳正なる審査の結果、大川石材は、僅差で最優秀賞に選ばれ、日頃から良いもの作るというこだわりをもって取り組んできたことが、成果を出せたことを嬉しく思い、採掘元と共に喜びました。

今後とも、大川石材をよろしく願います。



以上

(文責 第1回庵治石グランドコンペティション 2009 出展担当 常務取締役 大川弘展)